

〔玉篇〕^{十八}輪力均反考工記中略又曰兵車之輪六尺有六寸野王案即車之脚也所用轉以進者也

〔類聚名義抄〕^九輪ヲ クルマノヲ 輶オホヲ一之輪ヲ

〔下學集〕^下布輪車具也

〔延喜式〕^{十七}牛車一具○中 輪料櫟廿八枚

〔大鏡〕^六內大臣道隆此帥殿伊藤原は花山院とあらがひごと申させ給へりしはとよいとふしぎな

りしことぞかしわぬしなりとも我門はえわたらじと仰せられければ隆家などてかまかりわ

たり侍らざらんと申給て其日に定められぬ輪つよき御車に逸物の御牛かけて御烏帽子直衣

いとあざやかにさうぞかせ給へり

〔台記〕久安四年五月十日丁卯早旦禪閣○藤原忠實詣天王寺○中 禪閣渡御宿所北屋 十四日辛未

申刻御輦予藤原賴長候後放輪○昇居西門外地覽聖人所行之迎講

〔新撰字鏡〕^欠歎古久反已志支

〔倭名類聚抄〕^{十一}車具一 說文曰古祿反楊氏漢語抄云輻所湊也

〔箋注倭名類聚抄〕^三車具一 按内匠寮式云牛車○ 櫓者即是○ 櫓蓋○ 甌俗字甌訓古之岐故借用也○中 文選

解嘲○ 轂訓古之幾新撰字鏡歎訓已志支歎即轂字之譌按其形似甌故名○中 釋名○ 轂塙也○ 體堅塙

也

〔類聚名義抄〕^九轂正車ノコシキ 輶俗 〔同〕^九輪正或零車 輻又 輦全正 車堅

〔延喜式〕^{十七}內匠牛車一具○中 槽料櫟二枚

〔大鏡〕^八花山院の御時の石清水臨時祭圓融院の御覽せしばかりけうある事候はざりき○中 大

臣二人は左右の御車のとうをさへて立せ給へり